



An apple a day keeps the doctor away.

表紙のリンゴのはてな？

「1日にリンゴ1個で医者いらす」という、イギリスの諺から学校ヘルスケアのシンボルに採用!! 学校ヘルスケアの芽が育ち、開花し、次世代の健康という実を結びますように…。

Health Education & Health Promotion

上越教育大学大学院学校教育研究科修士課程
教科・領域教育専攻
生活・健康系教育実践コース

学校ヘルスケア



Gappyは学校ヘルスケアの公式キャラクターです。学校に幸せ(happy)をもたらす妖精で、学校ヘルスケアのシンボルであるリンゴマークを被っています。

<http://www.juen.ac.jp/kenkou>

Since 2006

子どもたちの生涯にわたる

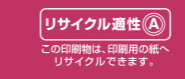
こころとからだの健康のために…。

教育・研究スタッフ

学校保健・運動生理	池川茂樹	Shigeki Ikegawa
養護学・健康教育	留目宏美	Hiromi Todome
食科学・植物生化学	光永伸一郎	Shin-Ichiro Mitsunaga
食教育・食と健康	野口孝則	Takanori Noguchi
健康科学・医学	上野光博	Mitsuhiro Ueno
精神保健・医学	増井晃	Akira Masui

スタッフの詳細情報は、大学のHP(<http://www.juen.ac.jp>)→「大学院」→「教育研究スタッフ」をご覧ください。

国立大学法人 上越教育大学 Joetsu University of Education
大学院学校教育研究科修士課程 教科・領域教育専攻
生活・健康系教育実践コース 学校ヘルスケア
<http://www.juen.ac.jp/kenkou/>



修了生の今

Aさん(6期生)
養護教諭
大学院では現職の先生とも学ぶ機会があり、現場で必要な知識を短期間に効率的に身についたと思います。教員採用試験の対策も手厚く、念願のA県で養護教諭としてスタートすることができました。

Bさん(3期生)
大学教員(養護教諭養成課程)
大学院で研究業績を上げられたことが、現在の職に繋がっています。現場の教員から教員養成へ転身しましたが、これまでの教職経験を次の世代につなげていくことのできる、やりがいのある仕事です。

Cさん(5期生)
小学校教員
学校ヘルスケアに在籍しつつ、免P制度を利用して小学校教員免許を取得しました。大学院で学んだ知識のひとつひとつが、日々の健康教育においてとても役に立っていることを学校現場に出て改めて実感しています。

さらに深く研究したいあなたへ。
博士課程進学
兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
<http://www.office.hyogo-u.ac.jp/jgs>
兵庫教育大学、上越教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が連合して後期3年のみの博士課程を設置しています。

Dさん(1期生)
栄養関係
大学院で学んだ専門知識と教育理論が、現在の職場でも大変役立っています。

進路

教員として活躍!!
初等教育
中等教育
特別支援教育
&
高等教育

就職支援

就職支援プログラム & PLACEMENT PLAZA (就職支援室)

取得可能な免許の充実

専修免許
養護教諭や栄養教諭の専修免許はもちろんのこと、学校ヘルスケアに在籍しながら、他のコースの単位を修得し、あなたが持っている教員免許(一種)を専修免許にすることができます。

教育職員免許取得プログラム(免P)
大学院に3年間在籍し、その間に教員免許(幼・小・中・高・特別支援)取得に必要な学部の授業を履修する制度です。学費は2年分と同額です。毎年約100名の大学院生が履修しています。すでに免許をお持ちの方でも、あらたな免許を取得できます。

地域で学校を支える
専門職として活躍!!

企業へ就職等

学校での**健康教育**や**食育**推進には、**教員ひとりひとりの力とその連携が重要です。**

新たな学習指導要領や改正された学校保健安全法等の中では、学校の教育活動全体を通じて健康や安全、食育等を推進するよう明記されています。そのためには、養護教諭や栄養教諭はもちろんのこと、子どもの最も身近なところかわかる学級担任さらには教科を担当する教員も重要な役割を担っています。
「学校ヘルスケア」では、健康教育学、医科学、養護学、食や健康に関わる科学などの専門的学

問基盤に立脚しつつ、健康・安全や食の教育に関する研究を通して、現実の課題を分析し解決に導く能力、創造的な教育実践の推進者となりうる能力の向上を目指しています。
様々な健康情報が氾濫する現代社会において、子どもたちが自らの健康にかかわるリテラシーを身につけ、より一層生き生きと豊かな人生を送るための教育の実現について一緒に追求していきましょう!!





学校ヘルスケアは、学校での健康教育・食育について総合的に学ぶことを目的に新設された領域です!

(全国唯一)

3つの入り口からの
大まかな進路を示しています。
皆さんはどれに該当するでしょうか?

現職教員の方へ

養護教諭
栄養教諭
幼稚園教諭
小学校教諭
中学校教諭
高等学校教諭
特別支援学校教諭

専門知識が不足している、専門教科の教員任せになっている、学校教育全体として健康教育や食育が統合されず、他職種との連携が取りにくいと感じていませんか?

*修学休業制度を利用される方には、授業料の全額、または半額を免除する制度があります。

学級担任として健康教育・食育に課題を感じている方

教員免許所有の方へ

養護教諭
栄養教諭
幼稚園教諭
小学校教諭
中学校教諭
高等学校教諭
特別支援学校教諭

子どもたちの健康について、問題意識を持っていませんか? 健康教育・食育について、専門性を身につけ、その力を学校で生かしたいと感じていませんか?

他学部で教員免許を取得したが、現職経験のない方

みなさんが大学で学んだことや社会で経験したことを基盤に、学問的興味を深めたい、あらたに教員免許を取得し教員になりたいと思いませんか?

あらたに学びたい方へ

管理栄養士・栄養士、保育士等の免許を有し、より専門的に健康教育・食育について学びたい方 and/or あらたに教員を目指す方

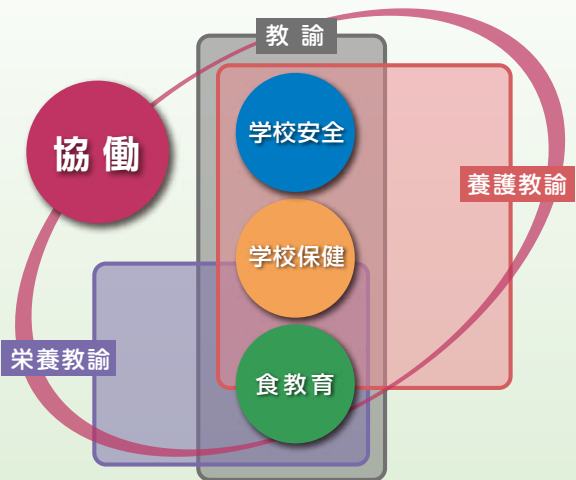
- ・派遣教員の方、初等中等教育に3年以上の教職経験を有する方には筆記試験を課しません。
- ・機関長から推薦を受けた方には筆記試験を課しません。

学校ヘルスケアでできること

健康に関する諸科学と
学校教育の専門知識の
習得・高度化

健康課題を解決するための
研究力や実践力の向上

健康・食の教育において、
多職種の協同による総合的な
実践を推進できる教育者を
育成します。



「学校ヘルスケア」とは

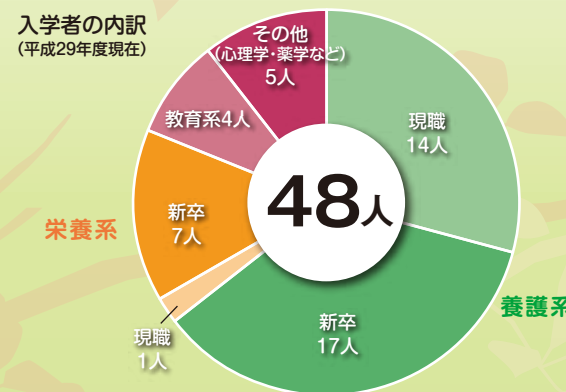
学校では、複雑で多様化する児童生徒の心身の健康問題への適切な対応と解決、さらに生涯にわたる健康で豊かな生活につながるための教育が求められています。学校でのヘルスケアに関わるものとして、健康教育(学校安全、学校保健)や食教育があり、それらには学校全体での協働的な教育の実践とそのための高度な実践的指導力が不可欠です。健康教育や健康課題への対応は、養護教諭・栄養教諭をはじめすべての教職員に求められており、こうした学校及び地域社会を含めた健康の保持・増進の取り組みを「学校ヘル

ルスケア」と定義しました。学校全体の健康の保持増進活動において、保健管理や保健教育では養護教諭が、平成17年度の栄養教諭制度成立以降は、給食指導をはじめとした食育においては栄養教諭がそれぞれ中心的役割を果たす一方で、担任教諭と専門職相互の疎通が希薄になる危険性があります。学校ヘルスケア科目群はこうした問題に取り組むために設立された、全国唯一の大学院です。

入学生の傾向

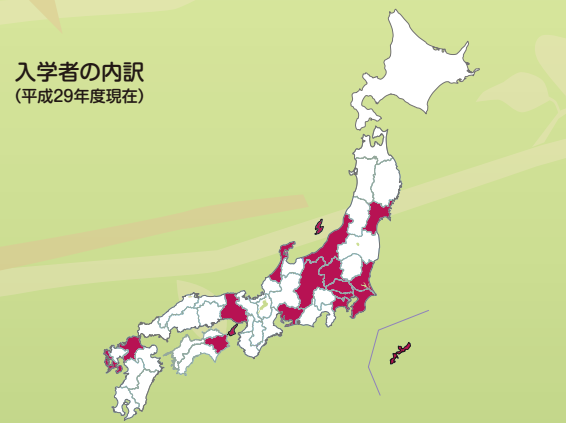
● 属性別

これまでに学校ヘルスケア科目群に入学生された学生(合計48人)の属性をまとめてみました。養護系の学生が最も多く31人(64.6%)で、そのうち現職でこられた方が14人でした。ついて栄養系の学生が8人で、そのうち現職でこられた方は1人でした。新卒の学生7人(14.6%)のうち栄養教諭一種免許を持つ方4人の他は、栄養士、管理栄養士などの資格保有者でした。その他では、学部ですでに何らかの教員免許を取得してこられた方が4人、免許を持たない方が5人でした。48人のうち免許のない5人を含め15人の方が大学院の免許プログラム制度を利用しており、中には養護教諭や栄養教諭の専修免許に小学校教諭の専修免許も取得された方もおられます。



● 出身地別

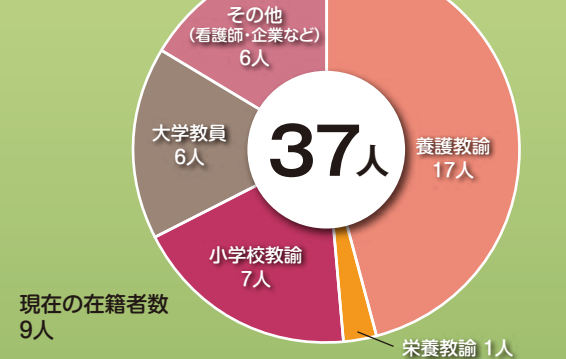
これまでの入学生を出身地別に示しました。現職の方は勤務校の所在地で、新卒の方は出身大学の所在地をもとに作成してあります。新卒の方の中には、他府県の大学を卒業し、地元である新潟県で教員となることを目指し本学に進学された方もあります。この地図上には示されていませんが、人数として最も多いのは新潟県の15人で、次いで群馬県7人、愛知県5人、東京都4人、沖縄県4人となっています。大学の先輩が在学されているという理由で翌年に後輩が続いて入学されるケースもあります。学校ヘルスケアも設立後11年を経過し、徐々にではありますが九州地方や近畿地方といった遠方からも入学生を迎えるようになってきました。



● 修了生の進路

これまでに学校ヘルスケア科目群に48人入学され、途中で教員採用試験に合格するなどの事情で退学された2人を除き37人の方が修了されました。進路として最も多いのが養護教諭17人(45.9%)、次いで小学校教諭7人(18.9%)です。養護教諭養成系や管理栄養士養成系の大学の教員になって活躍している修了生も6人います。また、研究を続けるべく博士課程に進学した方も2人います。栄養教諭として現場に出る修了生はこれから増えていく予定です。免許プログラム制度を活用して養護教諭や栄養教諭の免許に加え小学校教諭の免許を取得し、現在小学校教諭として活躍している方もいます。そうした意味でも、学校ヘルスケアでの学びは、教員としての人生を考える分岐点になっているともいえます。

● 修了者の内訳



修士論文題目一覧

平成28年度

- 大学生の健康診断結果と生活習慣との関連に関する研究—1大学31年間の健康診断結果の推移から—
- 養護教諭の健康相談に関する経験学習の実態—ライフラインメソッドを用いたインタビュー調査を通して—
- 栄養教諭・学校栄養職員の職務に関する研究
- 健康教育における養護教諭の思考過程に関する研究—小・中学校養護教諭へのインタビュー調査の分析を通して—

平成27年度

- 中学校における養護教諭とスクールカウンセラーとの連携に関する研究—養護教諭の連携の実態から考える連携推進の方策—
- 「気持ち悪い」と訴えて保健室を利用する生徒への対応—中学校養護教諭の事例分析を通して—
- 高校生における学校生活スキルと保健室利用に関する調査研究—後方的研究手法による中学生時代との比較—
- 小中学校栄養教諭・学校栄養職員の「食に関する指導」の実態に関する調査研究

平成26年度

- 小学校における食育の成果が教育学部学生の給食指導に対する意欲・関心に及ぼす影響
- 中学生における食に関する学力と身体的健康度との関連—客観的健康指標を用いて—
- 高等学校における「養護教諭による食育」の現状調査と課題検討
- 中学校における性の指導に関する研究—「性の学力」向上を目指す小中連携の在り方—

平成25年度

- 中学校における子宮頸がん予防教育に関する研究
- エイズ予防教育推進のための基礎的研究
- 教員養成系大学新入生の心身健康度の経年的変化の検討

平成24年度

- 女子大学生のボディイメージに影響を与える要因の検討—日韓の社会文化的背景と自尊感情に着目して—
- 小学校における睡眠の保健指導に関する研究—睡眠の「質」「量」「規則性」に着目した指導—

平成23年度

- 小学校教諭と学校教育学部学生における食育実践に関する意識と課題
- 小学校におけるソーシャルスキル教育に関する研究—6年生児童を中心として—
- 小学校における健康教育カリキュラムの実証的検討—養護教諭の実践を通して—

平成22年度

- 大学院生を対象とした唾液酸化還元電位値と自覚的健康度に関する研究
- 学校保健委員会の現代的役割に関する実証的検討
- 大学院生を対象とした唾液中ストレスマーカーと自覚的健康度に関する研究

平成21年度

- 自尊感情とレジリエンスが摂食障害の疾病抵抗性に及ぼす影響
- 養護教諭と学校医の連携に関する調査研究
- 養護教諭のライフストーリー—専門性の追求のために—
- 養護教諭の実践における「省察」と「熟考」
- 小学校の保健学習におけるティーム・ティーチングによる授業モデルの開発

平成20年度

- 養護教諭が促せる保健師との連携に関する研究
- 活動量の持続的測定結果に基づく睡眠の保健指導が児童の意識に及ぼす影響
- 大学生の性意識に基づく性教育プログラムの開発に向けた調査研究
- 養護教諭が行う慢性疾患を持つ児童生徒支援のための連携に関する研究
- 養護教諭の職務認識に関する調査研究—学校保健活動、学校組織風土との関連について—
- 小学校における保健学習の教材開発に関する実証的検討

平成19年度

- ボディイメージの理想自己と現実自己の差異が間食選択行動に及ぼす影響
- 学校における「食育」活動についての実証的研究
- 若年発症型摂食障害の予防に寄与する評価尺度の開発

過去の修士論文をご覧になりたい方は、上越教育大学附属図書館 025-521-3606 までお問い合わせください。